

— 気候変動の影響への取組 —

～自然災害・沿岸域について～



2級河川 新川 河川改修工事
河道拡幅に伴うJR田上橋架替

気候変動の影響によって、河川氾濫や高潮被害・土砂災害の規模がこれまでよりも拡大してきている可能性があります。
今回は、気候変動の影響と適応策に関する7分野のうち「自然災害・沿岸域」の適応策について紹介します。



気候変動には「**適応**」と「**緩和**」の2つの対策が必要



① 農業
森林・林業
水産業



② 水環境
水資源



③ 自然生態系



④ 自然災害
沿岸域



⑤ 健康



⑥ 産業
経済活動



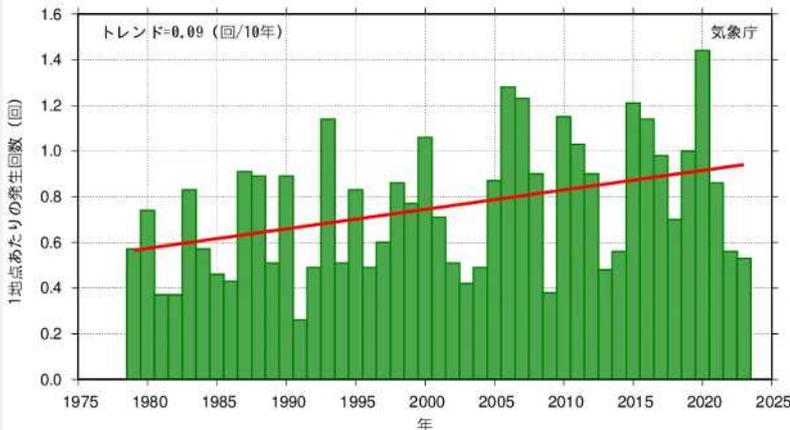
⑦ 国民生活
都市生活

鹿児島県気候変動適応センター

気候変動により深刻化する自然災害

○大雨などによる河川氾濫など

鹿児島県[アメダス]1時間降水量50mm以上の年間発生回数



出典:九州・山口県のこれまでの気候の変化(観測成果)福岡管区気象台
<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/kaiyo/chikyuu/report/observation.html>



時間雨量50mm を超える短時間強雨や総雨量が数百mm から千mm を超えるような大雨が発生
降雨量の増加及びそれに伴う河川の洪水発生頻度が増加



○海面水位上昇や台風などによる高潮被害など

九州・奄美の検潮所での年平均海面水位は、1985年から2021年までの期間に1年あたり2.7~4.3mmの割合で上昇※
将来、さらなる平均海面水位の上昇や台風の強大化等による沿岸地域への高潮、高波のリスクが高まる

※出典:九州・山口県気候変動監視レポート2021 福岡管区気象台



○大雨などによる土砂災害被害

集中的な崩壊・土石流等が頻発し、山地や斜面周辺地域の社会生活に与える影響が増大することが予想される

防災・減災の取組

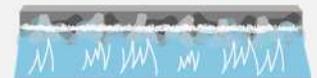
- 河川整備の実施により治水能力を向上させ、洪水時における氾濫を未然に防止



- 低気圧や台風の大型化、潮位の上昇等の自然条件の変化による漁港施設や背後地への浸水被害等に対し、漁港施設の機能強化整備



- 防波堤や岸壁等の港湾施設について、嵩上げや粘り強い構造等による整備、機能強化



※ グレーインフラ → コンクリート等の人工構造物

- 治山施設の整備・機能強化、森林整備等を実施し、水源のかん養及び災害(山地災害、高潮災害等)の防止



- 海岸防災林において、治山施設の整備・機能強化、森林整備等を実施し、高潮災害等の防止

※ グリーンインフラ → 自然の機能を地域課題の解決に活用しようという考え方
防災・減災に活用するものが「Eco-DRR」です。4ページへ

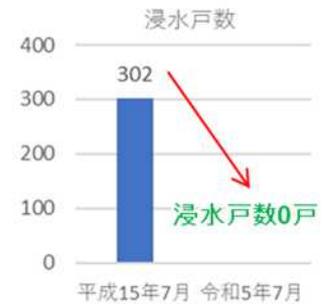
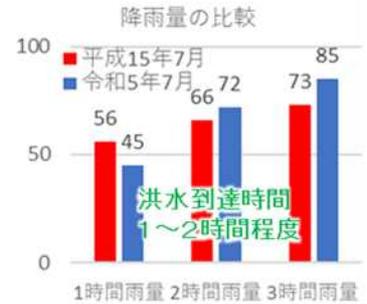


河川整備の効果事例(鹿児島市:新川)

- 新川水系新川では、平成5年8月、9月、平成7年8月、平成15年7月など、たびたび、人家等の浸水被害が発生していた。
- 令和5年には、浸水被害があった平成15年7月を大きく上回る雨が観測されたが、橋梁架替や河道拡幅などの事業効果により、平成15年7月の浸水戸数302戸が0戸であった。
- さらに、令和6年3月12日に、九州初の2級河川として特定都市河川に指定し、あらゆる関係者が協働して取り組む流域治水の実効性を高め、浸水被害の防止に向けた、整備推進に努めている。



(観測局: 鹿児島地方気象台)



わたしたちにもできる適応

私たち一人ひとりが、天気予報や防災アプリを確認したり、ハザードマップや避難経路を確認し、災害に備え身を守る準備をすることも重要な「適応」といえます。

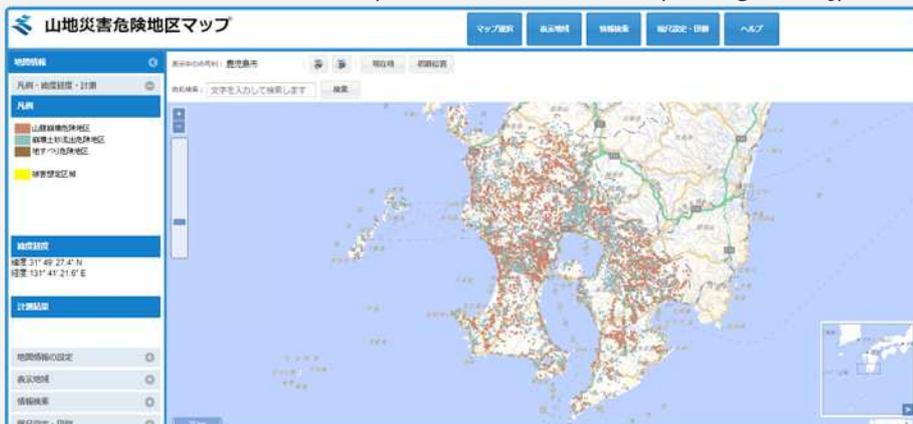


- 住民の速やかな避難活動のために河川管理者等が作成した洪水浸水想定区域図等を基に、市町村において防災マップ(洪水ハザードマップ)を作成しています。入手される場合はお住まいの市町村にお尋ねください。
- 洪水予報は、数時間後の河川の水位を予測して氾濫の恐れがあると判断した場合に発表されます。
- 鹿児島県河川砂防情報システムは、県内各地の雨量や河川の水位情報などをリアルタイムでインターネットに公開しています。

鹿児島県河川砂防情報システム

検索

<http://www3.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/bousai/jsp/index.jsp>



- 住民への危険地区情報の周知を図るため、「山地区災害危険地区マップ」を掲載しています。

<https://sanchimap.pref.kagoshima.jp/>



© 鹿児島県ぐりぶー

九州・沖縄地域におけるEco-DRRランドスケープ

[出典：気候変動適応九州・沖縄広域協議会災害対策分科会 Eco-DRR カルテ（鹿児島県版）]



Eco-DRRとは

自然環境や自然の素材を最大限に活かして、防災・減災の工夫をしようという考え方。



気候変動適応における広域アクションプラン

https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/action_plan/index.html

検索



鹿児島県気候変動適応センター
 〒892-0835 鹿児島県鹿児島市城南町18番地 鹿児島県環境保健センター内
 TEL:099-225-5133 FAX:099-225-5140
 メールアドレス kgp46-ccac@pref.kagoshima.lg.jp
 ホームページ <https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/ondanka/tekiou-center/index.html>

令和7年3月発行